

一次アセスメント票

受付 No. 1 2 3 名前：神奈川 太郎（27歳） 訪問年月日：平成31年1月10日		訪問目的 ①- 本人の意向確認 ②- 支援に必要な各種生活状況の確認																					
訪問者所属 B 障害者支援センター サービス管理責任者 氏名 鈴木 優子																							
障 害 者 本 人 の 概 要	生活歴 <ul style="list-style-type: none"> 平成3年（1990年）4月、個人病院で出生。6ヶ月検診にて首の座りの遅さを認め、T大学病院を受診し、脳性麻痺と診断される。療育支援（巡回リハ等）を中等部卒業まで受ける。 小学校は地元の普通校。中等部から特別支援学校に通う。高等部卒業後、自宅近くにあるA市内の「エスカルゴ」（就労継続B）へ週5日、母の送迎で通所している。 現在まで家族と同居して在宅での生活を送っている。 																						
	病歴・障害歴 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月</th> <th>事項</th> <th>年月</th> <th>事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H0. ☆月</td> <td>T大学病院にて脳性麻痺と診断</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>H0. △月</td> <td>身障手帳の交付（1級）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>大病もなく現在に至る。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年月	事項	年月	事項	H0. ☆月	T大学病院にて脳性麻痺と診断			H0. △月	身障手帳の交付（1級）				大病もなく現在に至る。								
	年月	事項	年月	事項																			
	H0. ☆月	T大学病院にて脳性麻痺と診断																					
H0. △月	身障手帳の交付（1級）																						
	大病もなく現在に至る。																						
医療機関利用状況 ・定期通院はなし。体調不良時などはT大学病院（内科、整形外科）へ受診している。																							
医療保険 被保険者(本人・ <input checked="" type="checkbox"/> 家族) <input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 健康保険 記号 番号 障害者医療: <input type="checkbox"/> 更生医療 <input type="checkbox"/> 育成医療 <input checked="" type="checkbox"/> その他(重度障害者医療費助成)																							
現在使用している福祉用具: 電動車いす																							
生活状況[普通の1日の流れ] ※週間生活表が必要な場合は別紙に記入 本人 <table border="1"> <tr> <td>起床</td> <td>通所</td> <td>帰宅</td> <td>夕食</td> <td>就寝</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>3</td> </tr> </table> 介助者 母が生活の主要動作に関する介助を担っている。 通所先は「エスカルゴ」（就労継続B）週5日。 通所しない日は、電動車いすで散歩をしたり、TVを観たり、音楽を聞いて過ごす。				起床	通所	帰宅	夕食	就寝	6	9	12	15	18	21	24	3							
起床	通所	帰宅	夕食	就寝																			
6	9	12	15	18	21	24	3																
[その他の1日の生活の流れ] ※いくつかの1日の生活の流れがあれば、別紙に記入 本人 <table border="1"> <tr> <td>6</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>24</td> <td>3</td> </tr> </table> 介助者				6	9	12	15	18	21	24	3												
6	9	12	15	18	21	24	3																

利用者の状況

1 生活基盤に関する領域

項目	チェック内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
経済環境	有り	家族が管理	有り	小遣い（月 5000 円）は自分で管理出来ているが、障害基礎年金は家族が管理。	
住環境	無し	家族と同居	有り	現在の住宅は改造済みだが、一人暮らしに向けた住居探し、生活動作及び電動車いす利用に対応する住宅の改修が必要。	

2 健康に関する領域

項目	チェックの内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
服薬管理	有り	服薬無し	有り	現在は服薬ないが、処方されたら支援が必要。	
食事管理	無し	無し	有り	現在は家族が支援しているが、一人暮らしに向けて支援必要。	
病気への留意	有り	家族が管理	無し	家族が居ないときは誰かのチェックが必要。	
体力	無し	無し	無し	今後は筋力低下、四肢拘縮等の予防が必要か？	

3 日常生活に関する領域

項目	チェックの内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
寝返り	無し	無し	無し		
起き上がり	有り	全介助	有り	動作全般に介助を必要とする。	
衣服着脱 (上衣・ズボン等)	有り	一部介助	有り	上着の袖通し、下着は上げ下げとチャック・ボタンの介助を必要とする。	
整容行為	無し	無し	無し	車いす対応の洗面所であれば可能。	
食事行為	無し	無し	無し	スプーンであれば可能。	
排泄行為 (排尿) (排便)	有り	全介助	有り	排尿・便とも洋式便座への移乗とズボンパンツの上げ下げ、清拭介助。	
入浴行為	有り	一部介助	有り	洗髪は可能。洗体は背中・でん部・足先の介助要。浴槽への出入りに介助を要するため、家ではシャワー浴。	
ベッドへの移乗 (床・車いす等)	有り	全介助	有り	両脇を抱えて移乗介助する。	
屋内移動	無し	無し	無し	手足移動（いざり這い）。	
調理（後かたづけを含む）	有り	全介助	有り	母が行っている。調理は未経験で方法や手順を把握していない。	

洗濯	有り	全介助	有り	母親が行っているため、動作は未経験。
掃除	有り	全介助	有り	同上
整理・整頓	有り	全介助	有り	同上
ベッド メイキング	有り	全介助	有り	同上
書類の整理	有り	全介助	有り	ある程度はできるが、通常は母が行っている。
買い物	有り	一部介助	有り	店員などに依頼して買い物はできる。
衣類の補修	有り	全介助	有り	母が行っている。
育児				子供はいない。

4 コミュニケーション・スキルに関する領域

項目	チェックの内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
意思表示の 手段	無し	無し	無し	言葉で意思表示できる。	
意思伝達の 程度	無し	無し	無し	本人からの意思表示を他者が十分に聞き取ることができる。	
他者からの 意思伝達の 理解	有り	一部介助	有り	日常生活上の内容であれば理解できる。本人が未経験な事項、契約事項などは支援が必要。	
電話の使用	無し	無し	無し	設定により携帯電話でメールも使用できる。	
FAXの使用	有り	全介助	有り	行った事がない。	
パソコン	有り	無し	有り	ネットの閲覧、メールのやり取りは可能。PCで絵を描くことに興味を持ち始めた。ワードやエクセルは「エスカルゴ」で少し行った。	
筆記	有り	一部介助	有り	文字を書くことはできるが、書類への細かい枠内等への記載は難しい。	

5 社会生活技能に関する領域

項目	チェックの内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
対人関係	無し	無し	無し	とても親和的。	
屋外活動 (近距離移動) (遠距離移動)	近距離：無し 遠距離：有り	EW/C EW/C	場面 によ り	(近) 電動車いすで移動できる。 (遠) 一般交通機関の利用経験はあるが、一人で利用したことはない。	
金銭管理	有り	ほぼ介 助	有り	小遣い程度であればできる。通帳管理などは家族が行っている。	
危機管理 (戸締まり) (連絡)	有り	全介助	有り	戸締まりは支援が必要。一人暮らしした場合、連絡手段の検討が必要。	

6 社会参加に関する領域

項目	チェックの内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
レクリエーション等	無し	有り	有り		「エスカルゴ」(就労継続B)主催の行事に参加している。
趣味	有り	送迎 介助	有り		「ロックバンドK(架空のバンド名)」のファン。月に1回母の付添いで渋谷のライブへ行く。会場でファン仲間も出来た。一人で行きたい。
旅行	有り	全介助	有り		友人とKのライブへ行きたい。
当事者団体の活動	有り	無し	有り		一人暮らしの話を聞いたり、実際に体験することを希望している。
各種社会的活動	有り	有り	有り		「エスカルゴ」(就労継続B)で行われる活動に時折参加する程度。

7 教育・就労に関する領域

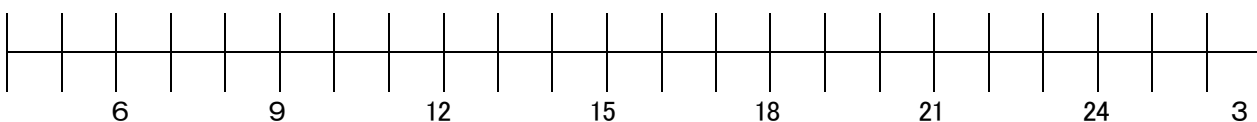
項目	チェックの内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
教育	無し	特別支援 学校高等 部卒	有り		社会的体験や自立生活の話を聞いたり、実際に体験することを希望している。
就労	有り	就労継続 B	有り		高校時代に実習したが結びつかず。将来は就労したいと希望。

8 家族支援に関する領域

項目	チェックの内容			本人の能力と制限 環境の能力と制限	気づいたこと 気になること
	援助の有無	実態	希望		
家族	有り	協力的	有り		一人暮らしには家族の理解が必要と考えている。

希望する1日の流れ

本人 未定



介護者

家族の要望・希望するくらし

父：「一人暮らしはやってみなければわからない。試したらいい。親はいつまでも生きていないので本人が選ぶしかない。本人がいろいろな人の力を借りながら生きていく必要がある」と話す。

母：「そんなに急がなくても今の生活を続けてはどうか？何か見えないものにもぎ取られていきそう」と話す。

姉：「(一人暮らしに対しては) 甘えん坊だから無理じゃないか、心配」と話す。

本人の要望・希望するくらし

- ・ 将来は一人暮らしをしたい。
- ・ もっと自分でできることを増やしたい。働きたい。
- ・ ずっと親を頼ることは出来ないので、介助者を探したい。

<p>関係職種からの情報</p> <p>A市内の「エスカルゴ」(就労継続B)より：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に5日休まず通ってきている。 ・軽作業を担当。PCエクセルで数量の入力、自社製品の色付けなど。 ・人間関係は良好。 ・一緒に作業をする仲間は知的障害の方が多く、本人とは話が合わない。 ・先日、高等部の同窓会でアパート生活を始めた同級生と会ってから、一人暮らしについての相談が増えてきた。 ・電動車いすなら30分程で通所できるが、毎日母の車で送迎してもらっている。 	<p>【家屋の見取り図】<input type="checkbox"/> 持ち家 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>トイレ、浴室位置や形状、玄関、道路までのアクセスや段差等の記入</p> <p>◎省略</p> <p>※ 一戸建てを想定。</p> <p>※ 自宅内の改修は</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 玄関スロープ設置。 ② 居室内は手足移動(いざり這い)で移動が出来る様に改造済み。 ③ トイレは洋式でL字バー設置済み。 ④ 風呂は介助でシャワー浴をベースにした改造。
<p>対応者所見 (注目すべき点、気になる点を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期間両親のもとで生活され、社会的に未経験な面が多く、一人暮らしに向けた目的達成の為には周囲の適切な情報提供や支援のもと「体験の機会」を得ることが必要。その体験から得た情報・知識などを元に、目標達成する為に、何が必要か、どうしていけば良いかを、本人自身が具体的に考えられるよう支援を行う必要がある。 ・ 一人暮らしの相談は「エスカルゴ」(就労継続B)職員に行っており、精神的な支えは得られている。 ・ 本人に対して、家族は協力的であり関係性は良好。「一人暮らしを目指すのは素晴らしいが、母も本人も、離れられないのでは？」と、姉は心配している。 ・ A相談支援事業所の相談支援専門員・田中氏とも親和的な関係が築けている様子。 	